

平成28年 第1回 議会定例会

一 般 質 問

1. 3番 永瀬 洋子

2. 9番 野田 泰博

3. 7番 軍司 俊紀

印西地区環境整備事業組合議会

議席3番 永瀬 洋子 議員

【質問1】 第2回議会でも質問致しましたが、次期中間処理施設建設に向けた2つの検討委員会も3月末には答申書を提出されとのこと。

答申に向けた委員会の検討内容についてお伺いします。

(1) 施設整備基本計画検討委員会

(2) 地域振興策検討委員会

【質問2】 跡地利用策の検討についてお伺いします。

議席9番 野田 泰博 議員

【質問1】 印西地区環境整備事業組合構成3市町のゴミ減量化施策を事業組合母体および正副管理者としてどのように現況を把握しているのか。

①現時点でのゴミ減量化が次期施設建設に一番重要な施策と管理者はお考えだったが、現在組合構成3市町の取り組んでいるゴミ減量施策は印西地区環境整備事業組合管理者の意にかなっているものかどうか。

②環境整備事業組合の管理者および副管理者の立場として3市町の施策のゴミ減量施策をどのように評価しているのか。

③過去3年間、環境整備事業組合が燃焼した処理重量はどのように推移しているのか、3市町別住民1人当たり一日の燃焼ゴミ重量を示して説明して欲しい。

④環境整備組合が新規工場を建設する時の燃焼ゴミ処理重量推定値は、3市町別がどれほど現在ゴミ処理重量を減量するかと、将来の人口数と、将来の生活様式などを組み合わせて、組合の次期施設能力を決めることになるが、いつの時点の構成3市町の現在の燃焼処理ゴミ量目安としようと考えているのか。

議席 7 番 軍司 俊紀 議員

**【質問 1】 廃棄物処理計画とごみ処理基本計画について**

県では「第 9 次廃棄物処理計画」を来年度から実施することになっているが、組合では平成 26 年 3 月に発表した「ごみ処理基本計画」とどのように関連付けていくのか。

(1) 「排出事業者における自主的な廃棄物の排出抑制や資源化の取組促進」という施策を県では掲げ、3 R を推進する旨の記載があるが、組合では「事業者に啓発を呼びかける」とする以下の 3 つの施策についてどのように取り組んでいるのか。

- ① 減量計画書の作成
- ② 事業系ごみの不用品情報コーナーの設置
- ③ 事業系ごみの資源化

(2) 「バイオマスの活用の推進」という施策を県で掲げ、組合も「剪定枝の資源化」を「ごみ処理基本計画」で謳っているが、事業進捗はどのような状況か。

(3) 「有害廃棄物の適正処理の推進」という施策項目が県の計画にはあり、水銀廃棄物の適正処理の推進が掲げられているが、組合では今後「ごみ処理基本計画」でどのように位置づけ、法が定める適正回収と処理業者への委託を行っていくのか。

(4) 「災害廃棄物の処理体制の整備」を県では適正処理体制の整備という項目であげているが、組合ではどのように体制を整えていくのか。

**【質問 2】 次期中間処理施設整備事業について**

組合では、次期中間処理施設整備について「施設整備基本計画検討委員会」と「施設整備事業地域振興策検討委員会」という 2 つの委員会を開催し、3 月末にはそれぞれの委員会から答申が提出される予定となっているが、以下について問う。

(1) プラスチック製容器包装類のサーマルリサイクルについての検討はどのように行われていたのか。

- (2) 処理困難物への対応についての議論はあったのか。
- (3) 建設に至るまでの財政計画について組合はどのように考えているのか。
- (4) 工事の入札及び契約の適正化に向けた取り組みは行われるのか。

**【質問3】放射性物質を含む指定廃棄物の「指定解除ルール」について**

環境省では、東京電力福島第一原子力発電所の事故で発生した放射性物質を含む指定廃棄物のうち、基準を下回った分の指定を解除できる「指定解除ルール」を固めた。

印西地区環境整備事業組合では現在、基準値を超えた飛灰を約130t保管しているが、今後どのように取り扱いを考えていくのか。